

公益財団法人 千葉市文化振興財団

1 団体概要

設立年月日	昭和48年2月13日	出資・出捐状況	20,000 千円 (うち市 20,000 千円 100.0%)
設立目的	千葉市にふさわしい文化を総合的に振興して、市民文化の向上、地域文化の振興、男女共同参画社会の形成促進に資する事業を展開し、もっていきいきとした個性豊かな市民文化の形成に寄与することを目的とする。		
所在地	千葉市中央区中央2丁目5番1号		
代表者	理事長 宍倉 和美		
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		

2 組織状況 (令和8年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	2 (1)	7	9 (1)
うち市OB	2 (1)		2 (1)
うち市派遣	0		
職員	30		
うちプロパー	30		
うち市OB			
うち市派遣			
計	32		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧書で記載している。

職員 平均年齢	47.1 歳	職員平均 給与(年額)	7,469,107 円	役員平均 報酬等額(年額)	6,862,901 円
------------	--------	----------------	-------------	------------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

※常勤役員についての平均

3 財務状況 (単位:円)

	R5年度	R6年度	R7年度
総収入(A)	690,215,919	675,282,008	701,321,379
総支出(B)	691,961,430	681,101,268	721,761,066
当期収支(A-B)	▲ 1,745,511	▲ 5,819,260	▲ 20,439,687
総資産(C)	607,279,262	607,013,579	608,529,446
負債(D)	465,974,439	471,528,016	493,483,570
正味財産合計(C-D)	141,304,823	135,485,563	115,045,876
市補助金	33,512,790	33,136,940	34,181,966
市委託料	501,517,800	494,950,000	524,883,000

4 実施事業

(単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	市支出額	依存率
千葉市文化センター管理事業	受託 公益	施設管理、貸出及び文化事業	282,235,768	221,565,000	78.5
千葉市民会館管理事業	受託 公益	施設管理、貸出及び文化事業	253,145,835	163,863,000	64.7
千葉市男女共同参画センター 管理事業	受託 公益	施設管理及び男女共同参画事業	138,271,471	139,455,000	100.0
地域文化活性事業	自/受 公益	ベイサイドジャズ千葉	24,938,132	18,054,000	72.4
子ども若者文化支援事業	自/受 公益	子どもミュージックプロムナード等	10,241,025	9,449,000	92.3

※R7年度決算額

指定管理者として管理する 公の施設	・千葉市民会館 ・千葉市文化センター ・千葉市男女共同参画センター
----------------------	---

情報公開	HPアドレス 公開情報	https://www.f-cp.jp ■ 定款・寄付行為 ■ 役員名簿 ■ 財務状況 □ 経営改善計画
------	----------------	---

5 評価指標(共通指標)

(単位:%)

	評価指標	R5年度	R6年度	R7年度
自立性	補助金依存率	4.9	4.9	4.9
	受託事業収入率	72.9	73.3	74.8
	自主事業比率	0.5	0.5	0.6
効率性	人件費比率	43.2	43.2	47.4
	管理費比率	3.2	3.2	3.5
安全性	自己資本比率	23.3	22.3	18.9
	流動比率	185.3	185.3	168.8
	固定長期適合率	76.6	77.6	80.4

6 活動指標(個別指標)

活動指標	R5年度	R6年度	R7年度	備考
文化施設利用者数(人)	421,008	379,353	425,160	
文化施設利用料金収入(円)	134,456,456	100,934,934	123,548,980	
文化事業入場料等収入(円)	14,283,782	10,989,013	13,332,896	
賛助会員数(人)	185	181	236	

7 経営改善計画

計画期間	R 7 年度 ~ R 11 年度
経営方針	①すべての市民が文化の魅力を知り、文化を享受できるよう積極的、計画的に事業展開し、千葉市の魅力を高めます。 ②すべての市民が個人として尊重され、お互いに対等な立場であらゆる分野に参画する機会が確保され、責任を分かち合う社会の実現を目指します。 ③個性豊かな文化を市民と協働で創造し、千葉市の活力を高めます。 ④多様化複雑化する市民のニーズを的確に捉え、市民の満足度を高めるサービスに努めます。 ⑤ 公平で安定した事業展開や特色のある魅力的な施設運営ができるよう経営基盤を強化し、効率的・効果的な財団経営に努めて自主自立を目指します。
経営課題	①組織・人事 ・公益財団法人として、公益法人制度改革への対応が求められる。 ・職員の高齢化が進んでおり、今後、退職者が増えていく中、既存の職員に代わる新たな人材の確保が必要である。 ・既存の職員の高齢化に伴う、若手職員へのノウハウの継承が必要である。 ・職員が継続して業務に取り組めるよう、モチベーションの向上を図る必要がある。 ②事業 ・少子高齢化や人口の減少など社会情勢の変化、時代の変化に対応し、将来を見据えた長期的な事業展開を図る必要がある。 ・充実した文化振興事業を推進するため、新たな財源の獲得が必要である。 ・第3次千葉市文化芸術振興計画の基本目標を踏まえ、計画的に文化振興事業を展開する必要がある。 ・男女共同参画を推進するため、総合的な事業展開を図る必要がある。 ・男女共同参画に関する団体や市民の活動を支援、協働と連携を進める必要がある。 ③財政 ・公益法人制度改革に伴う、新たな公益会計基準への対応が求められる。 ・文化施設は利用料金制度を導入しているため、安定した利用料金収入の確保を図る必要がある。

<取組項目>

取組項目	年度策定の計画			特記事項
	取組前 (R6年度)	目標 (R11年度)	現状 (R7年度)	
経営の効率化				
様々な年齢層を意識した文化芸術事業を実施	実施	実施	実施	
文化芸術事業推進のための助成金等の活用	実施	実施	実施	
文化芸術情報を幅広く収集し発信	一部実施	実施	一部実施	
アーティストバンク登録者への文化芸術活動の支援	一部実施	実施	一部実施	
男女共同参画社会の形成に関する各種事業を展開	実施	実施	実施	
利用料金割引制度の拡充	実施	拡充	検討	
ホームページ等を活用した広報体制の拡充	実施	実施	実施	
市民サービスの拡充	実施	実施	実施	
組織・運営体制				
公益法人改革への対応	旧制度実施	新制度実施	一部実施	
人材育成の実施、組織力の向上	実施	実施	実施	
適正な財団運営	実施	実施	実施	
関係法令の講習・研修	実施	実施	実施	
透明性・公平性の確保	実施	実施	実施	
危機管理マニュアルの徹底	実施	実施	実施	
人事・給与制度				
人材の確保	実施	実施	実施	
定年年齢の段階的引き上げ	61歳	64歳	62歳	
人事考課制度の充実	実施	実施	実施	
職員研修の実施	実施	実施	実施	
団体の資金運用				
安全・確実な財産の運用	実施	実施	実施	
経営改善計画の策定				
スケジュール策定	実施	実施	実施	

8 外郭団体による評価

取組項目に関する評価	(1)経営の効率化 ①文化を創造する人材の育成 小学生までの子ども達を対象に舞台芸術活動のきっかけ作りを提供する「キッズフェスタ」を実施したほか、高齢者や障害者など幅広い市民が文化芸術を享受できる「文化芸術推進プログラム」や、市民が主体となる「市民創作プロジェクト」では、「市民創作ミュージカル」の公演を実施した。 ②文化芸術活動への支援 音楽のジャンルを問わず活動している高校生バンドなどを対象に、日頃の練習成果を本格的な舞台で披露する機会をつくり、若者文化の賑わいを創出する「Cフェス」を実施したほか、アーティストバンクちば登録アーティストの活動を支援するため、市内のイベント等への出演依頼に対する紹介、斡旋を行った。 また、「よろず相談」として、文化活動を行っている団体や個人の舞台公演、イベントなどの文化芸術に関する相談に対応した。 ③男女共同参画事業の実施 男女共同参画社会実現のために調査研究、情報収集提供、相談、研修学習、交流啓発を実施した。男女共同参画に関する幅広いテーマ展示をするとともに、女性の社会進出促進のための講座の実施、連携する関係機関等への出張講座を実施した。 (2)組織・運営体制 全国公益法人協会の講習会を受講するなど、継続的に法令順守の徹底を図るよう務めた。 (3)人事・給与制度 全国公立文化施設協会、千葉市外郭団体等連絡協議会等の研修に参加し、団体の特性を保持し高めていくために必要な職員の資質向上に取り組んだ。また、人事考課制度により、職員の能力や勤務実績等を評価し、その成果を給与処遇に反映することで職員の勤労意欲を高めることに努めた。 (4)団体の資金運用 資金管理運用に基づき、安全性の確保を第一に資金運用を行った。 (5)経営改善計画の策定 令和7年4月に策定した「第4次経営改善計画」に基づき「組織・人事」「事業」「財務」「その他の取組み」について、計画に示されたスケジュールに沿って取り組んだ。
総合評価	経営の効率化、組織・運営体制の改善、施設の改修・整備を行うとともに、様々な年齢層を対象として多彩な文化芸術行事の開催、男女平等意識の啓発等に係る展示・講座等を実施し、公益目的事業の推進に努めることができた。引き続き、文化事業においては、千葉市の文化行政を補完、代替、支援し、個性豊かな市民文化の形成を、男女共同参画事業においては、千葉市と緊密に連携を取り、男女の自立と対等な社会参画促進を目指す。
今後の方針	経営改善計画に沿って取組みを進めるとともに、第3次千葉市文化芸術振興計画・第5次千葉市男女共同ハーモニープランを柱とした事業展開を行っていく。

9 所管局による評価

取組項目に関する評価	(1)経営の効率化 文化芸術活動を支える人材育成や活動機会の提供をし、全世代の市民文化の向上、地域文化の振興の推進に努めた点や男女共同参画社会の実現に向けて多様な方法で事業を推進した点は評価できる。 (2)組織・運営体制 講習会への参加を通じ、継続的に適切な体制を構築していることは評価できる。 (3)人事・給与制度 研修参加による職員の資質向上に努めたり、人事考課制度により職員の勤労意欲を高める取り組みは評価できる。 事業実施に効果的な情報収集を積極的に実施するなど、団体の経営改善に資する自主事業の企画立案に寄与する人材育成に取り組まれたい。 (4)団体の資金運用 資金運用基準に基づき、安全かつ確実な資金運用を行っていることは評価できる。 (5)経営改善計画の策定 経営改善計画に基づき、各項目について着実に取り組んでいることは評価できる。 市民ニーズや市の施策を踏まえ、団体の設立目的を実現する上で問題となる経営上の課題等について引き続き整理されたい。
総合評価	経営改善計画に定められた各取組項目が概ね着実に実施されており、計画どおりに進められている。 文化振興財団が長年に亘り培ったノウハウを活かしながら、設立目的を達成するため継続的に実施している取り組みに加え、社会情勢の変化に応じた事業の実施や、市民ニーズを踏まえた積極的な事業展開に期待する。
今後の方針	経営の更なる効率化に向け、以下の項目について取り組まれたい。 ・職員の平均年齢や人件費率が高いことから、団体の規模、事業内容等を踏まえた組織体制の構築、および人材の流動化を促進されたい。 ・団体の経営改善に資する自主事業や収益事業の展開を進められたい。 ・第3次千葉市文化芸術振興計画・第5次千葉市男女共同ハーモニープランを軸に千葉市民の文化芸術の向上・男女共同参画社会の実現に向けて貢献されたい。